

	県事務局	松江圏域協議会	雲南圏域協議会	出雲圏域協議会	大田圏域協議会	浜田圏域協議会	益田圏域協議会	隠岐圏域協議会	
19年度実績	島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会 開催(年2回)	●実施内容 圏域の地域職域連携推進協議会(回数、内容等)	<連絡会> ●連絡会2回(9/6, 2/20)開催 ●特定健診・保健指導について ●関係団体の役割について確認 ●アクションプランの推進について情報交換 ●今年度の事業実施状況と評価 ●各団体の状況報告 <企画会> ●企画会2回(7月、1月)開催 ●連絡会開催前に開催 ●連絡会に向けて、研修企画等検討	<連絡会> ●1回開催(H19.11.15.) ●特定健診・保健指導について ●事業所への情報提供について <地域職域ネットワーク会議> ●1回開催(H20.2.26.) ●特定健診・保健指導について ●労働安全衛生法について ●共同事業について(事業主セミナー)	<連絡会> ●1回開催(H19.9.3.) ●特定健診・保健指導について ●事業所の健康づくり状況調査結果報告 <研修会> ●メンタルヘルスをテーマ	<大田圏域地域職域連携推進協議会> 9/27 ●事業主セミナーについて ●共同事業について ●出前講座 ●普及啓発 ●各機関の取り組みについて ●特定健診・保健指導について ●各種研修 ●商工会等 打合せ 3回	<浜田圏域地域職域連携推進協議会> 8/30, 3/13 2回開催 ●浜田圏域の行動指針(案)を作成 ●健康管理情報の経年ファイル、まめなくんファイルの普及	<壮年期保健連絡会> ●11/1 健康管理体制の整備を中心に検討	●各町村の産業保健部会を核に検討
	事業主セミナー打合せ会(年2回)	●研修会等共同企画	●研修会 9/6 特定健診・保健指導 2/20 メタボリックシンドローム	●研修会(事業主セミナー開催)	●研修会(事業主セミナー開催)	●研修会 2/7 メンタルヘルス 2/18 職場の健康づくり(島根産業保健推進センター共催) 12/3 メタボリックシンドロームメンタルヘルス ●出前講座(うつ対策、歯周病予防等) 計19回 847人	●職場の健康づくり講演会の開催 ●職場の健康づくり優良事業所表彰 ●情報提供: 労働安全衛生法の改正について ●講演「生活習慣の改善とメタボリックシンドローム」	●壮年期保健研修会 2/27 講演「メタボリックシンドローム予防に向けた職場の健康づくりについて」 情報提供:労働安全衛生法の改正	島根産業保健推進センターと共催実施 2/14 メタボリックシンドローム特定健診・特定保健指導労働安全衛生法の改正
	関係機関の会議出席 産業医研修連絡協議会 産業保健C連絡協議会 労働関係協議会 社会保険健康づくり事業推進協議会	管内市町村への支援内容	●商工会議所・商工会と市町間の連携支援 ●松江市・安来市における働きざかり部会、産業保健部会設置への支援	●飯南町産業保健部会支援 職域健康管理に関し情報提供	●壮年期保健対策、産業保健部会への支援	●町の産業保健部会への支援	●各市産業保健部会への参画	●特定健診・特定保健指導の実施体制整備に向けての支援 ●郡市医師会毎の説明会 ●市町事業推進検討会 ●産業保健部会の活性化支援 ●産業保健部会への参加 ●研修会への講師派遣	●町村産業保健部会の支援 ●がん対策 ●歯周疾患対策 ●生活習慣病対策
		その他		●心の健康出前講座 ●リーフレット配布 ●広報誌による情報提供		●チラシ等の配布 ●商工会たよりへ健康情報の掲載 ●商工会議所、商工会の総会における情報提供			
		●成果	●チャレンジ事業所の支援・アクションプランの周知活動について商工会議所・商工会・各市町間の連携推進が図られ、各市町産業保健部会の設置検討が進んだ ●研修会開催にあたり、産業保健推進センター、労働基準監督署との連携が深まった	●地域・職域関係者で特定健診・保健指導の情報交換を行い当面の課題を共有できた ●松江労働基準監督署との連携が深まり、研修会の参加者増加により、多くの方への健康管理に関する情報提供が実施できた ●合併後の各商工会と連携を持ったことにより、健康づくり担当者の明確化につながった	●連絡会で特定健診・特定保健指導の情報交換を行い、情報提供できた ●研修会を島根県産業保健推進センター、出雲労働基準監督署、出雲労働基準協会、出雲産業保健センターと共催し、事前打ち合わせや役割分担して実施できた ●各機関と連携することで、効果的に事業が実施でき、事業所の健康づくりについて一緒に考えることができた	●関係機関と連携し、働きざかりの健康づくり講座を開催できた ●社会保険健康事業財団が構成員となった ●各機関へ特定健診・特定保健指導についての情報提供が行えた ●商工会、商工会議所と連携することで、人間関係作りとなり、側面的支援や保健所の事業への理解へつながった	●浜田圏域の行動指針を検討し、共通で取り組む事柄や団体で実施できる事柄が確認できた ●職場の健康づくり優良事業所表彰を受けた事業所が、継続して健康づくり活動を実施していることが分かった	●壮年期保健連絡会を開催し、保険者や団体の活動情報を得ることができ、連携が深まった ●島根産業保健推進センターの事業主セミナーと共催し、経費削減と周知方法に幅を持たせることができた	●特定健診・特定保健指導の実施に向け、事業所が情報を得る有効な機会となった ●情報提供のルート・各機関の役割が認識できた
		●課題	●アクションプランの推進についてアクションプランの展開に向けた仕組みづくりが必要 ●商工会議所・商工会の連絡会に参画 事業への理解を継続して働きかける必要がある ●市町産業保健部会の支援 圏域の本事業と市町の部会とのつながりを強化させる	●市町の壮年期保健対策との連動 各市町健康増進計画における壮年期保健対策との整合性を図り、事業を推進する ●出雲労働基準監督署との連携 監督署の所管区域として2つの監督署にまたがっており、2つとも連携をとっていく	●特定健診・特定保健指導に関する情報提供が不足していた ●研修会の参加者が多く、会場の席等が不足した ●出前講座のPR不足で活用が少なかった	●市町との共同体制には至っていないが、共同で壮年期の健康づくりに取り組めるよう働きかけが必要である ●「働きざかりの健康づくり講座」、健康教育等の普及啓発	●行動指針の検討を行い、健康課題の把握と理解を深め、生活習慣等の改善につながる具体的な施策を検討する必要がある ●特定健診、がん検診等の受診率向上に向け、検討が必要 ●事業所の健康づくりに対するアプローチを検討する必要がある ●協議会で作成した媒体について、内容の見直しを行い、情報提供を行う	●壮年期保健連絡会は、関係機関団体の連携の場ともなるため、早期に開催する ●研修会の時間設定及び内容の検討	●事業の継続性に欠け、意識改革・行動変容に至らないため、事業所での環境づくりにつながるよう、継続した情報提供が必要 ●地域性を考えた事業推進が必要であり、産業保健推進母体である町村との調整が必要 ●産業保健部会の中で、評価ができていない
		●今後の方向性	●関係機関のネットワークの強化 ●主体的な事業参画に向けた、関係機関への意識啓発	●地域・職域の関係機関の情報交換の位置づけから働きざかりの健康課題の継続的な検討の場へと発展させる必要がある	●連絡会の中で、特定健診・特定保健指導についての意見交換や情報交換ができるよう準備する	●「働きざかりの健康づくり講座」へ事業所が参加できるよう、大田市・邑智郡で各1回ずつ開催する ●商工会、商工会議所と連携し、出前講座の活用を推進する ●特定健診・特定保健指導の情報提供を継続する	●浜田圏域地域職域連携推進協議会の開催(2回) ●職場の健康づくり講演会(事業主セミナー)の開催(年1回) ●事業所出張講座の支援 ●各市産業保健部会の参画 ●健康長寿しまね推進会議で共同実施している会議等の継続	●研修会について、連絡会が主体となるような事業展開を検討していく	●継続した情報提供となるよう、情報誌を有効活用する ●労働安全大会等での啓発 ●職域での取り組みにつながるよう、媒体等の情報提供を検討する ●他事業との連携を取りながら推進する ●町村毎の目標・計画を明確にし、評価につなげる
	●県協議会で広域調整が必要なこと	●中小企業団体連合会への働きかけを強化して欲しい				●県、圏域の壮年期の健康課題に関する情報提供、意見交換をして欲しい ●事業主セミナー打合せの継続 ●特定健診・特定保健指導・各種がん検診に関することや、健康づくりに活用できる媒体を県会議等で情報提供してほしい		●保険者協議会・各圏域の事業実施状況について情報提供してほしい	